



近つ飛鳥

令和7（2025）年

8月27日

学校だより 8・9月号

家庭数

「できた」がいっぱいの2学期に」

校長 山田 智一

長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。宿題や準備など、ご家庭には多くのご協力をお願いしましたが、温かいご支援をありがとうございました。子どもたちは家庭でゆっくり過ごし、エネルギーを蓄えてきた様子が見えがえします。

1年の中で、子どもの成長を最も感じられるのが2学期です。1年生の漢字や2年生のかけ算など、教科で新しいことを学ぶだけでなく、運動会やアスカーニバル（縦割り活動）、地域との交流など行事も盛りだくさんです。

それぞれの活動では、「できなかったことができるようになる」「さらに高度なことに挑戦する」ために努力が求められます。2学期の学びには、今後の学習に活かされる内容や、生活に必要なスキル、生き方の支えとなるものも多く含まれています。

まずは運動会。子どもたちには、あきらめずに粘り強く取り組むこと、最後までやりきる達成感や自信を味わうこと、仲間の頑張りを認め合う姿勢を身につけてほしいと願っています。子どもたちの「やる気」「本気」「元気」を引き出しながら、充実した活動となるよう努めてまいります。

また、子どもの成長をご家庭の皆様と共に喜び合える2学期にしたいと考えております。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクールとして新たな一歩を

今年度より、コミュニティ・スクールとしての活動をスタートしました。

これは、学校運営協議会を設置し、学校と地域が連携・協働して、地域の課題解決や人材育成に取り組む仕組みです。子どもたちの成長を、学校・地域・保護者が「当事者」として支え合うことを目指します。協議会の委員は、教育委員会が校長の推薦をもとに、保護者・地域の方・教職員などから任命します。

本校ではこれまでも、保護者や地域の皆様にご支援・ご協力をいただけてきました。登下校の安全指導、地域交流、講話など、すでに多くの取り組みが行われており、土台は整っていると感じています。

今後は「地域とともにある学校」として、これまでの活動を少しずつアップデートし、持続可能な形で発展させていきます。引き続き、皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。